



東証二部上場

証券コード:7408



2014年3月期(平成26年3月期)

決算説明会

2014年5月15日

株式会社ジャムコ

技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。したがって、決算短信、有価証券報告書など、表示桁未満を切捨てて作成、表示している資料とは末尾数値が異なる箇所がございますのでご了承ください。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

Contents

I 2014年3月期決算の状況

グループ各社の状況	4
業績概要(連結)	5
売上高(連結)	6
経常利益(連結)	7
2014年3月期 決算のポイント	8
貸借対照表(連結)	11
減価償却費/設備投資額/試験研究費(連結)	12

II 中期3ヶ年計画

経営環境と市場動向	14
ジャムコ中期ビジョン	15
中期経営計画の課題	16
グループ連結	17
内装品セグメント	18
機器製造セグメント	19
整備セグメント	20
減価償却費/設備投資額/試験研究費(連結)	21
2014年度 業績予想(連結四半期)	22

2014年3月期 決算の状況

CATEGORY	グループ各社の状況.....	4
	業績概要（連結）.....	5
	売上高（連結）.....	6
	経常利益（連結）.....	7
	2014年3月期決算のポイント.....	8
	貸借対照表（連結）.....	11
	減価償却費／設備投資額／試験研究費（連結）.....	12

【単位:百万円】

	当 社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	その他	シンガポール ジャムコ
売上高	57,781	3,178	2,029	12,045	770	318	747	762	325	0	4,663
営業利益	5,872	46	22	△ 1,833 (△ 2,184)	45	42	18	26	1	7	247
経常利益	6,265	52	47	△ 1,861 (△ 2,211)	48	39	17	25	1	7	247
当期純利益	3,877	△ 104	26	△ 1,177 (△ 1,408)	53	34	10	14	△ 1	5	223

(注1)「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの合算値です。

(注2)シンガポールジャムコは持分法適用関連会社です。

(注3)ジャムコアメリカは787関連開発費の償却について当社と同じ基準で会計処理しています。括弧内の数値は「米国基準」における数値です。

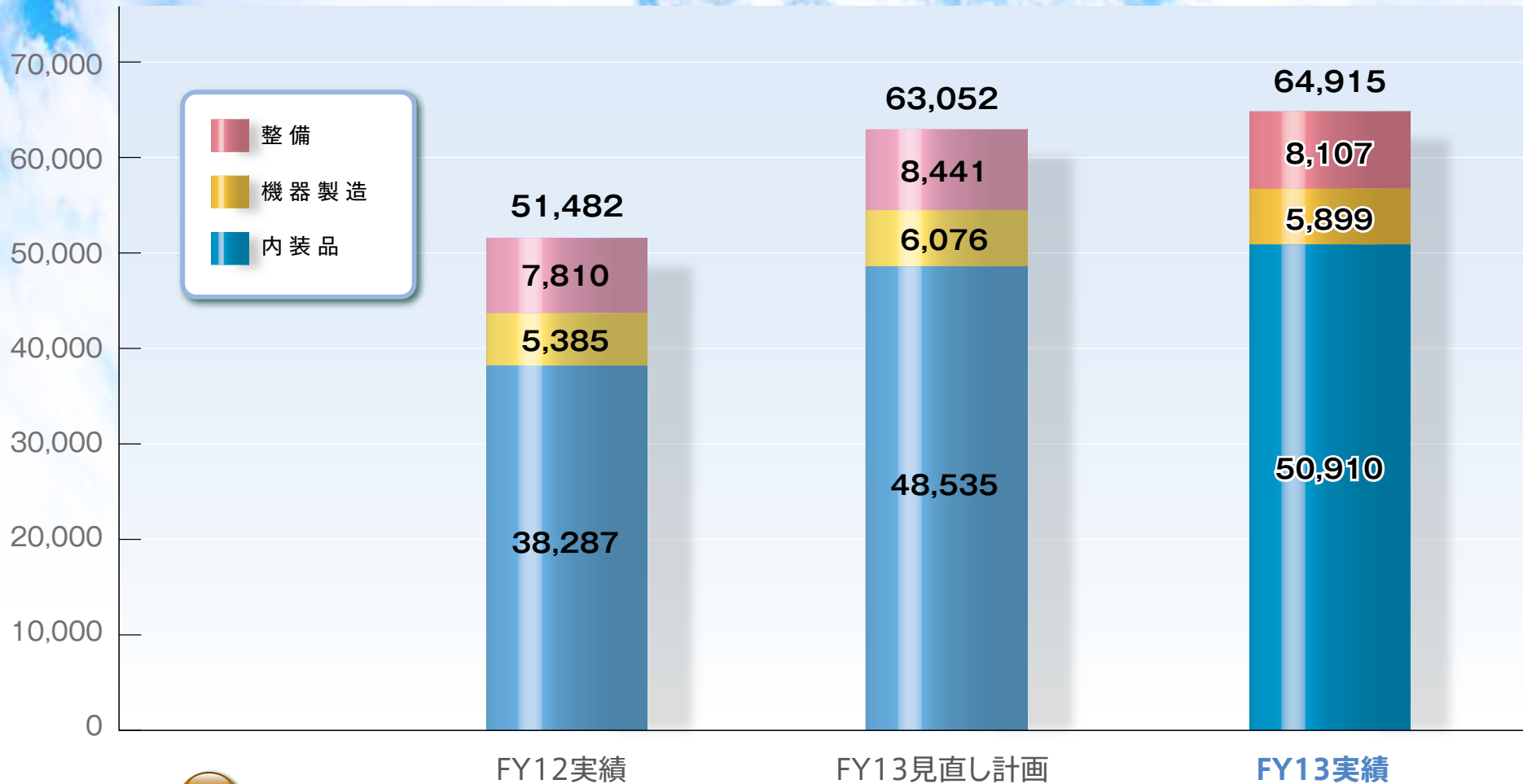
【単位:百万円】

	FY13実績	FY12実績	前期比	FY13 見直し計画	計画比
売上高	64,915	51,482	+26%	63,052	+3%
営業利益	4,289	2,886	+49%	3,134	+37%
経常利益	4,539	3,105	+46%	3,100	+46%
税引前当期純利益	4,332	3,013	+44%	2,903	+49%
当期純利益	2,721	1,710	+59%	1,660	+64%
1株当たり 当期純利益(円)	101.45	63.73	—	61.86	—
売上為替レート (円/USドル)	99.70	82.79	—	95.00	—

(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

I-03 | 2014年3月期 決算の状況 売上高 (連結)

【単位：百万円】



POINT

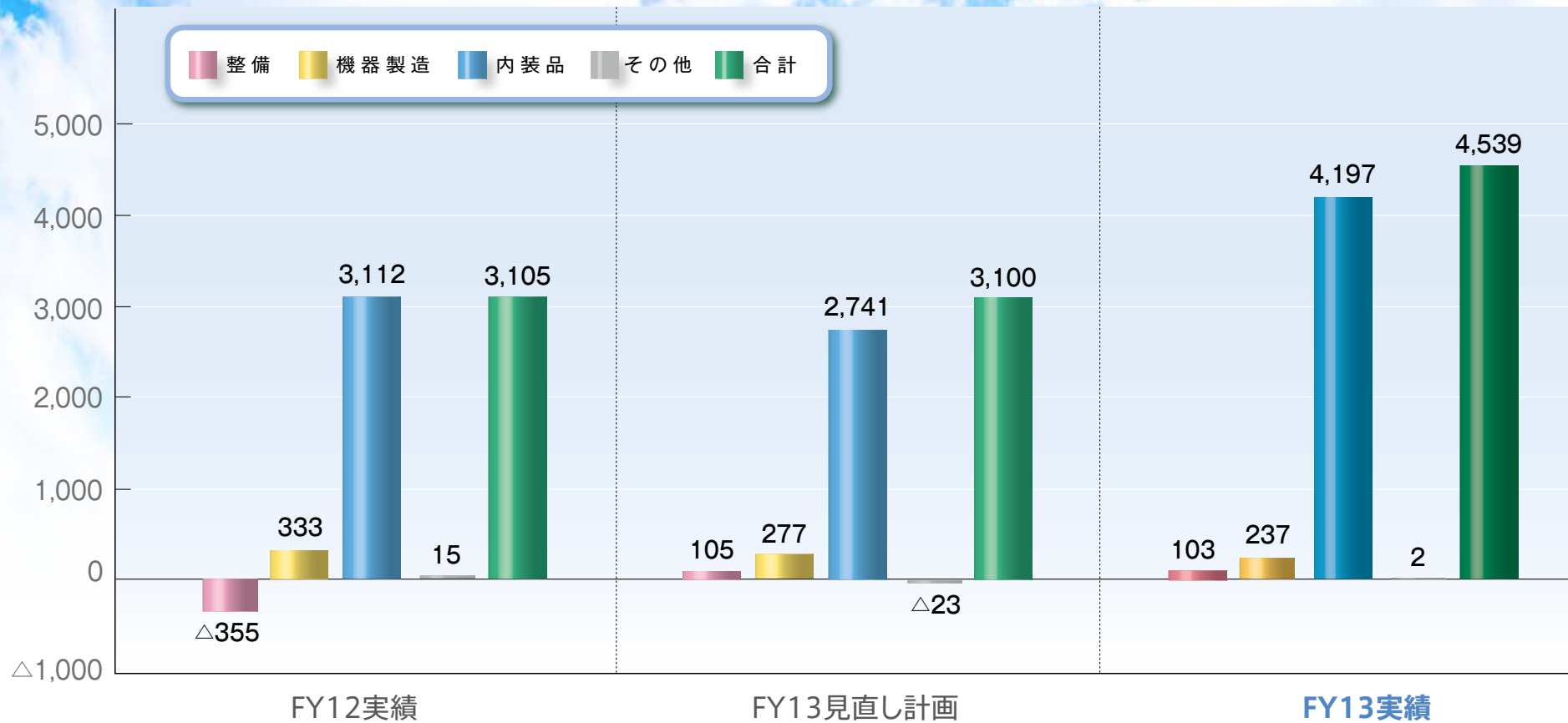
FY13見直し計画対比

- 内装品はギャレー販売の増加、円高是正による外貨建て売上高の増加
- 機器製造はADPとエンジン部品の受注不足により減少
- 整備は装備品整備関係の受注量が不足したことで減少

(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

I-04 2014年3月期 決算の状況 経常利益 (連結)

【単位:百万円】



POINT

FY13見直し計画対比

- 整備は組織再編と操業度の改善により計画値に近い利益を維持
- 機器は防衛関連部品とエンジン部品で新規製造品目が増えたことによる初期コスト増が響き減益
- 内装品はギャラリー、ラボトリー等の生産性向上、及び売上為替レートが円安に振れたことによる増益

(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

前期比				見直し計画比			
	【単位:百万円】				【単位:百万円】		
	FY13 実績	FY12 実績	差異		FY13 実績	FY13 見直し計画	差異
経常利益	4,539	3,105	1,434	経常利益	4,539	3,100	1,439
売上総利益	11,027	8,580	2,447	売上総利益	11,027	9,942	1,085
販管費	6,738	5,694	1,044	販管費	6,738	6,808	△ 70
営業外損益	250	220	30	営業外損益	250	△ 34	284

(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

POINT

● 前期比

売上総利益：売上為替レートが円安に振れたことによる増益、スペアパーツ販売の増加
他原価低減効果

販管費：シート開発関係試験研究費が増加
内装品の売上高増加により販売手数料、保証工事費が増加
人件費の増加

営業外損益：FY12為替差益 (Net) 4.2億円、FY13為替差益 (Net) 4億円

● 見直し計画比

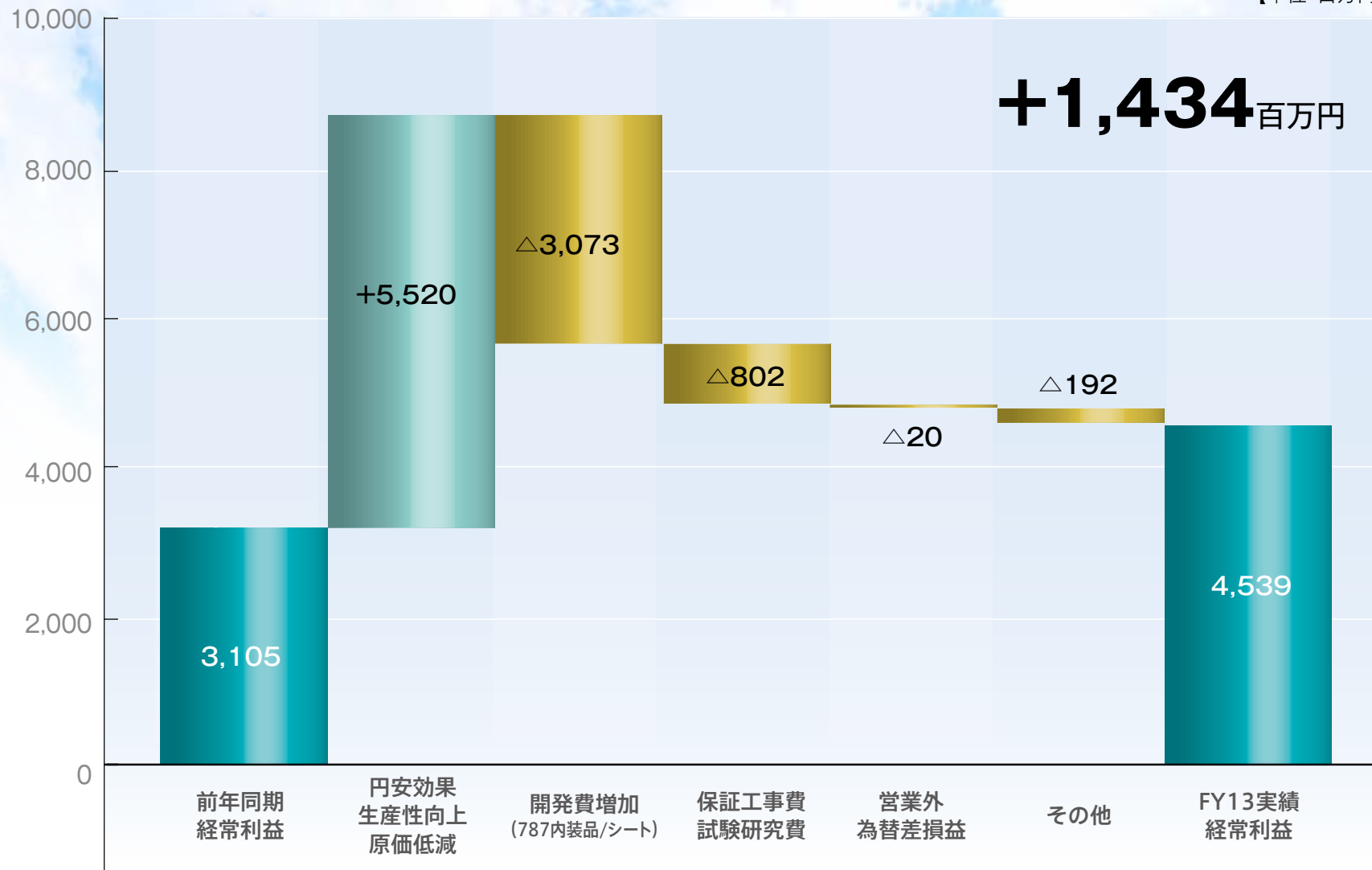
売上総利益：売上為替レートが円安に振れたことによる増益、
ギャレー販売の増加

販管費：内装品の売上高増加により、保証工事費が増加したものの、
その他の費用を低減

営業外損益：FY13見直し計画 (Net) 0.4億円、FY13為替差益 (Net) 4億円

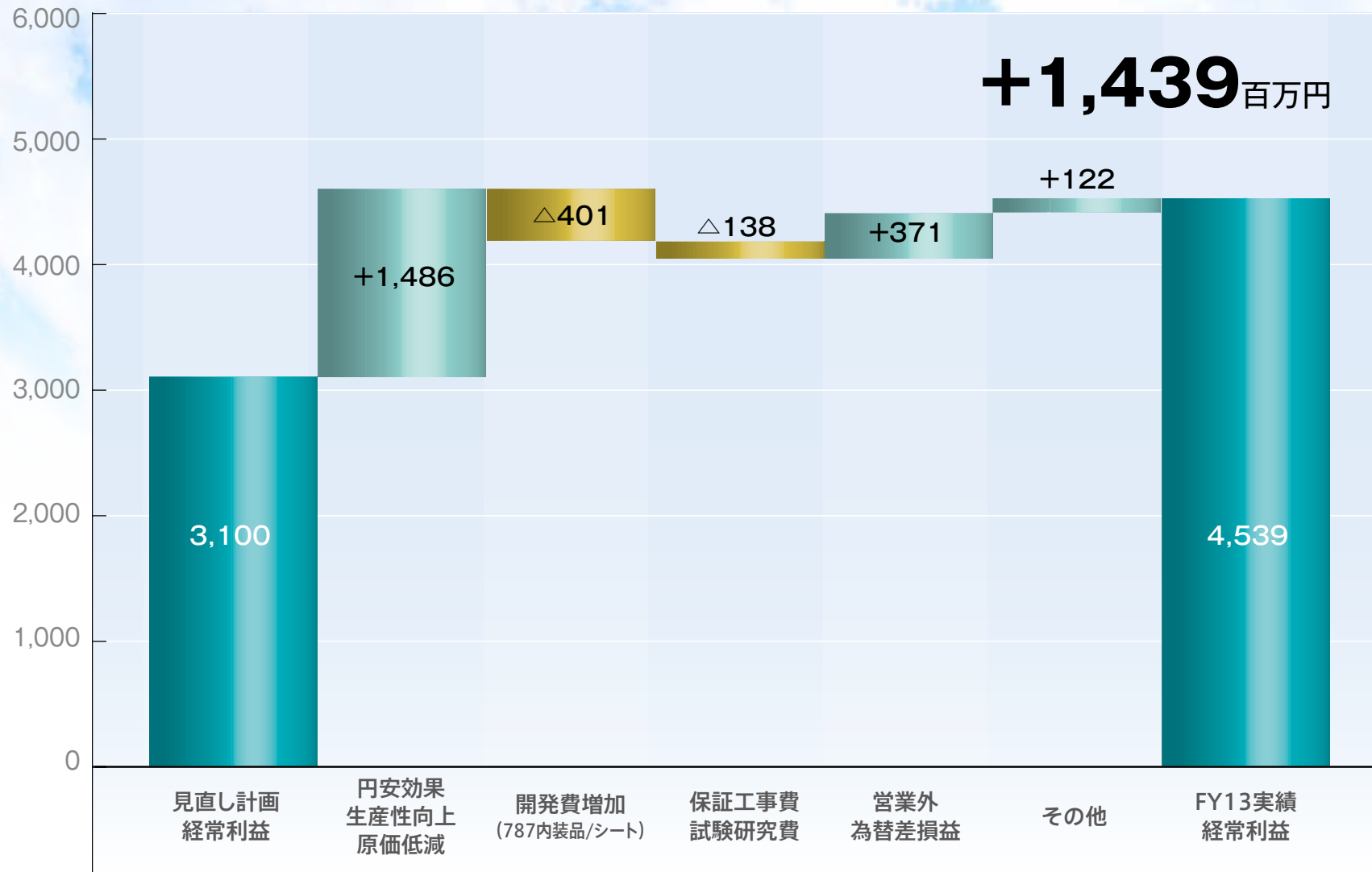
FY13実績 経常利益の前年同期比差異要因

【単位:百万円】



FY13実績 経常利益の見直し計画比差異要因

【単位:百万円】



【単位:百万円】

科目	FY13 末 2014年3月31日現在	FY12 末 2013年3月31日現在
〈資産の部〉		
流動資産		
現金及び預金	1,589	2,580
● 受取手形及び売掛金	19,663	17,757
● 棚卸資産	29,203	25,453
その他流動資産	4,714	3,955
流動資産合計	55,169	49,745
固定資産		
有形固定資産	10,881	10,033
無形固定資産	1,167	1,221
投資その他の資産	4,431	3,546
固定資産合計	16,479	14,800
資産合計	71,648	64,545

【単位:百万円】

科目	FY13 末 2014年3月31日現在	FY12 末 2013年 3月 31日現在
〈負債の部〉		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,779	8,684
短期借入金	20,774	17,979
その他流動負債	11,372	9,616
流動負債合計	42,925	36,279
固定負債		
長期借入金	2,507	4,607
その他固定負債	6,525	6,352
固定負債合計	9,032	10,959
負債合計	51,957	47,238
〈純資産の部〉		
● 純資産合計	19,691	17,307
負債及び純資産合計	71,648	64,545

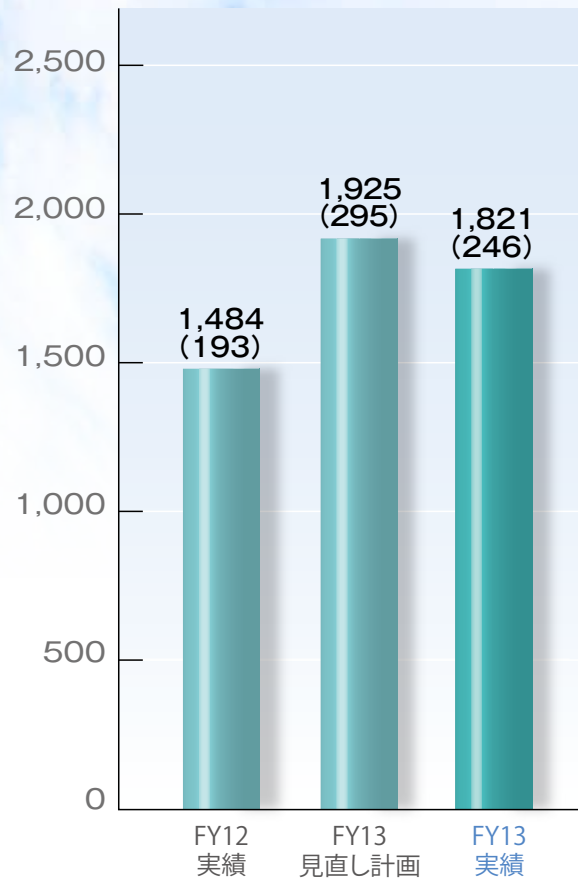
POINT

● 業容拡大に伴い、売掛金、棚卸資産が増加

● 最高益更新に伴い純資産が増加

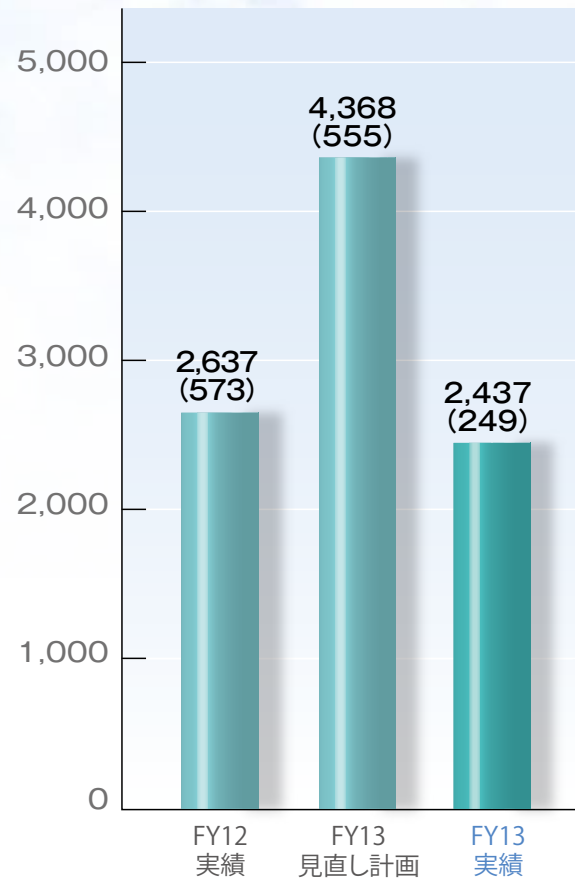
【単位:百万円】

減価償却費(連結)



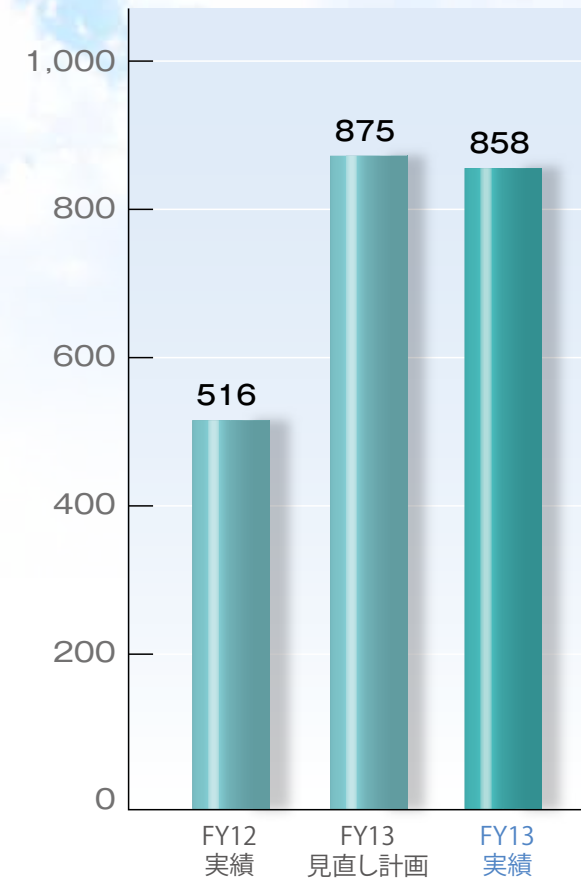
【単位:百万円】

設備投資額(連結)



【単位:百万円】

試験研究費(連結)

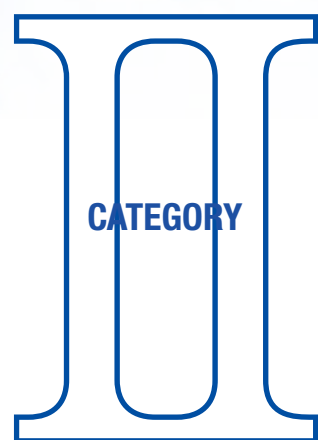


()内はリース資産分

設備投資には()内の全リース物件を含む

(注) 見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

中期3ヶ年計画 (2014~2016年度)



経営環境と市場動向.....	14
ジャムコ中期ビジョン.....	15
中期経営計画の課題.....	16
グループ連結.....	17
内装品セグメント.....	18
機器製造セグメント.....	19
整備セグメント.....	20
減価償却費／設備投資額／試験研究費（連結）.....	21
2014年度業績予想（連結四半期）.....	22

- 欧米の経済は穏やかな回復基調にあるが、中国をはじめ新興諸国で経済成長に鈍化が見られ、ウクライナをはじめとする地政学的リスクなどにより世界経済の先行きは不透明
- 国内経済は円安の後押しもあり回復基調にある
- 航空業界は航空輸送需要が拡大基調にあるが、航空会社は原油高やLCCの台頭などによる競争激化で厳しい事業環境にある
- 航空会社は経営環境の変化のなか運航性に優れる新型旅客機への代替、機内サービスの充実を進めている
- 為替相場は100円/ドル周辺で推移、中期的にこの水準が続くとの見方が大勢
- こうした事業環境において当社の中期的な売上高は拡大基調にある

優れた品質・技術＋高い収益力の「強い会社」

- ① 第一段階 (2012～2014中期経営計画)**
 - 経常利益率5%の達成
 - 前倒しで2012年度に達成
- ② 第二段階 (2013～2015中期経営計画)**
 - 経常利益率目標を7%に引き上げ
 - 2013年度6.99%、史上最高益を13年ぶりに更新
- ③ 第三段階 (2014～2016中期経営計画)**
 - 経常利益率7%以上を恒常的に達成できる体質
 - 売上高700億円以上、航空機内装品の世界三大メーカーの一つとしての地位
- ④ 将来**
 - 売上高1,000億のビリオンダラーカンパニーを目指す
 - 目標経常利益率10%
 - 航空機内装品総合企業として技術、品質で圧倒的世界一を目指す

内装品セグメント

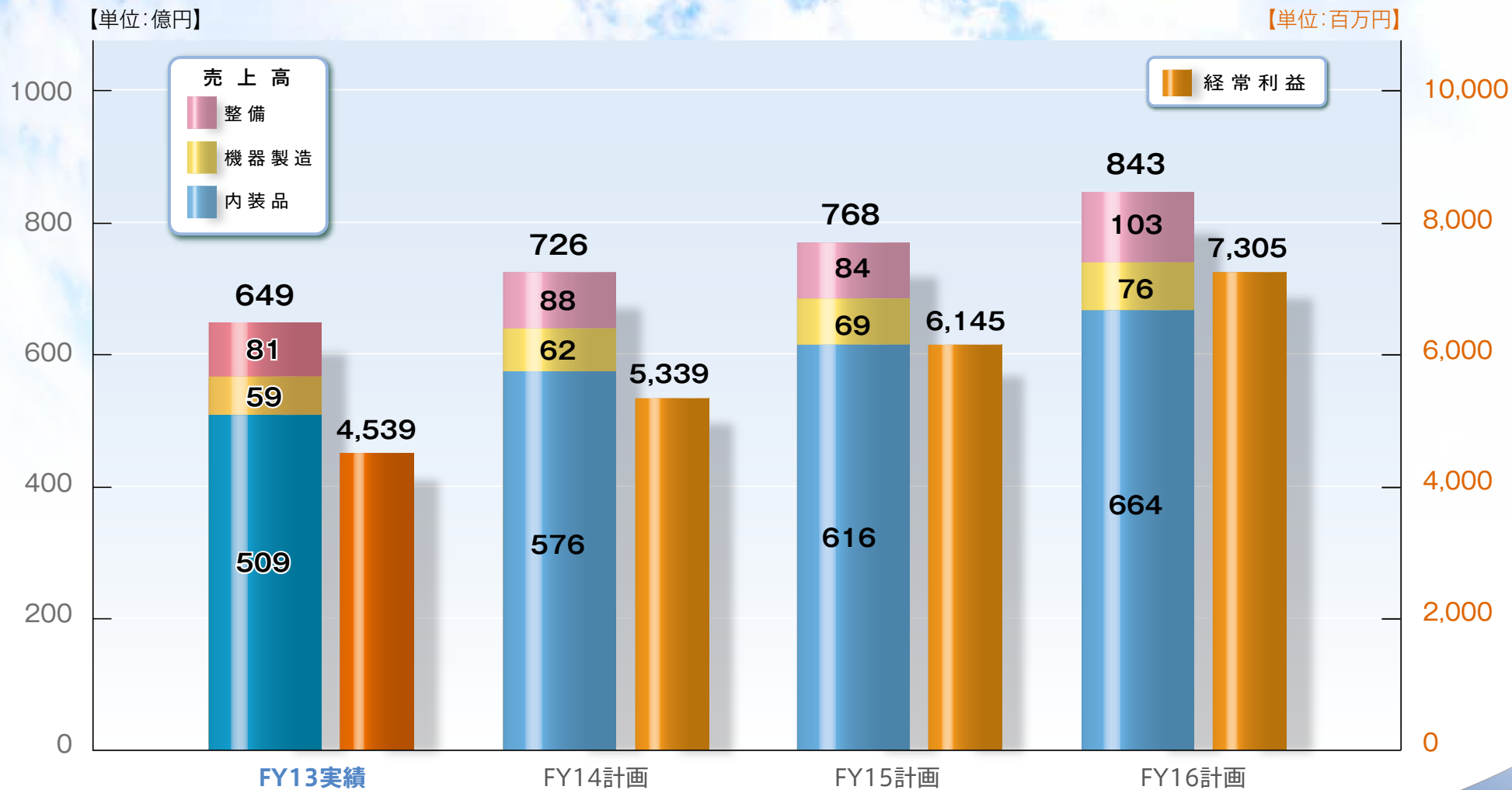
- 生産技術を革新し、コスト競争力を一段と強化する
- サプライチェーンを見直し、品質・コスト・リードタイムをより一層改善する
- 革新的な技術と製品により競争力を強化し、世界シェアNO.1を確保し続ける

機器製造セグメント

- 関連企業を含めた品質及び生産効率向上を追求し収益性向上を図る
- 国内外の新たな顧客を開拓し、受注の拡大を図る
- 新たな開発プロジェクトへの参画を通じて新製品の受注を目指す

整備セグメント

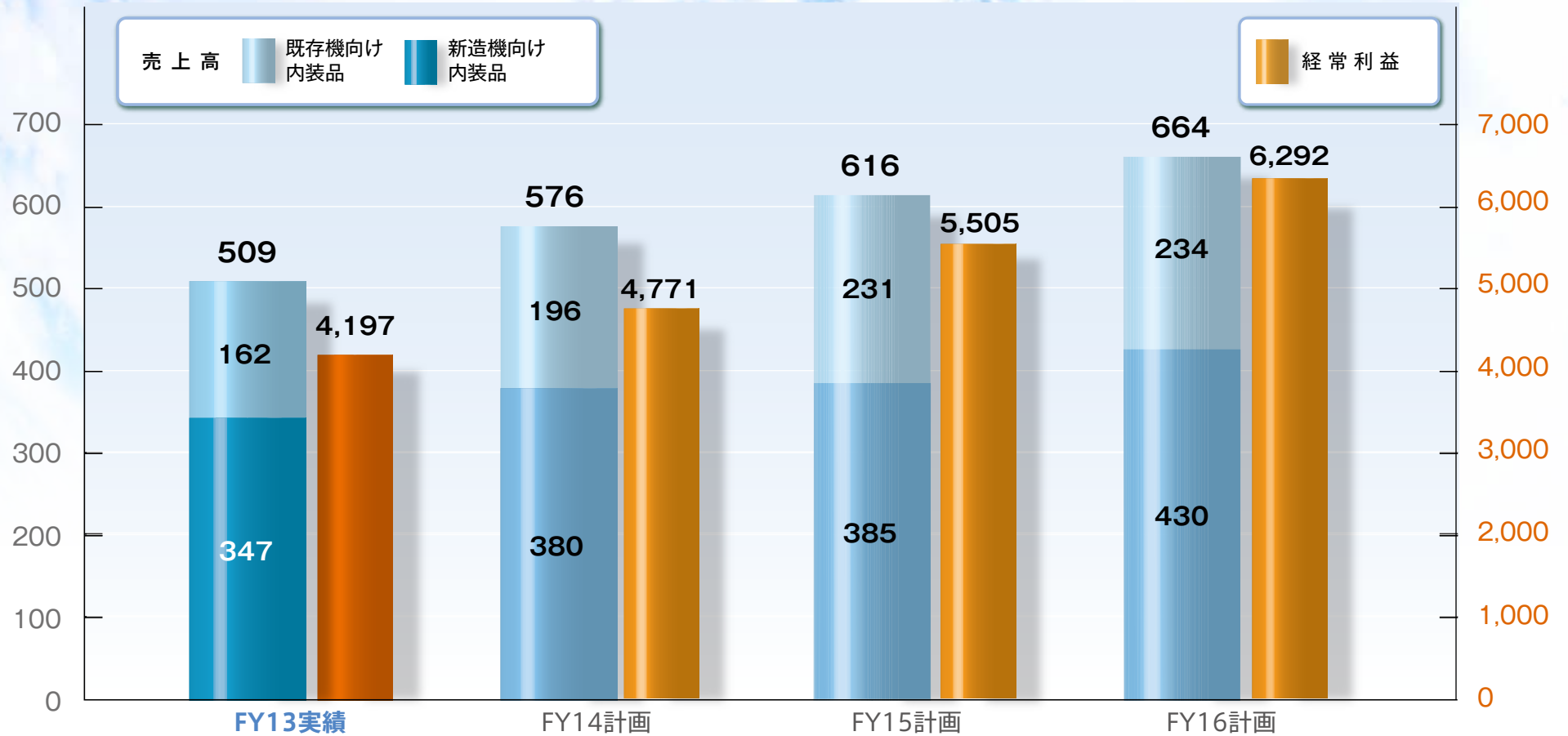
- 飛行安全の確保と品質保証体制のたゆまぬ強化を図る
- 機体整備の新たな事業モデルを構築する
- 海外市場への展開やメーカーとの協業を図る



(注)中期計画の為替レート FY14~16 100円/USドル

【単位：億円】

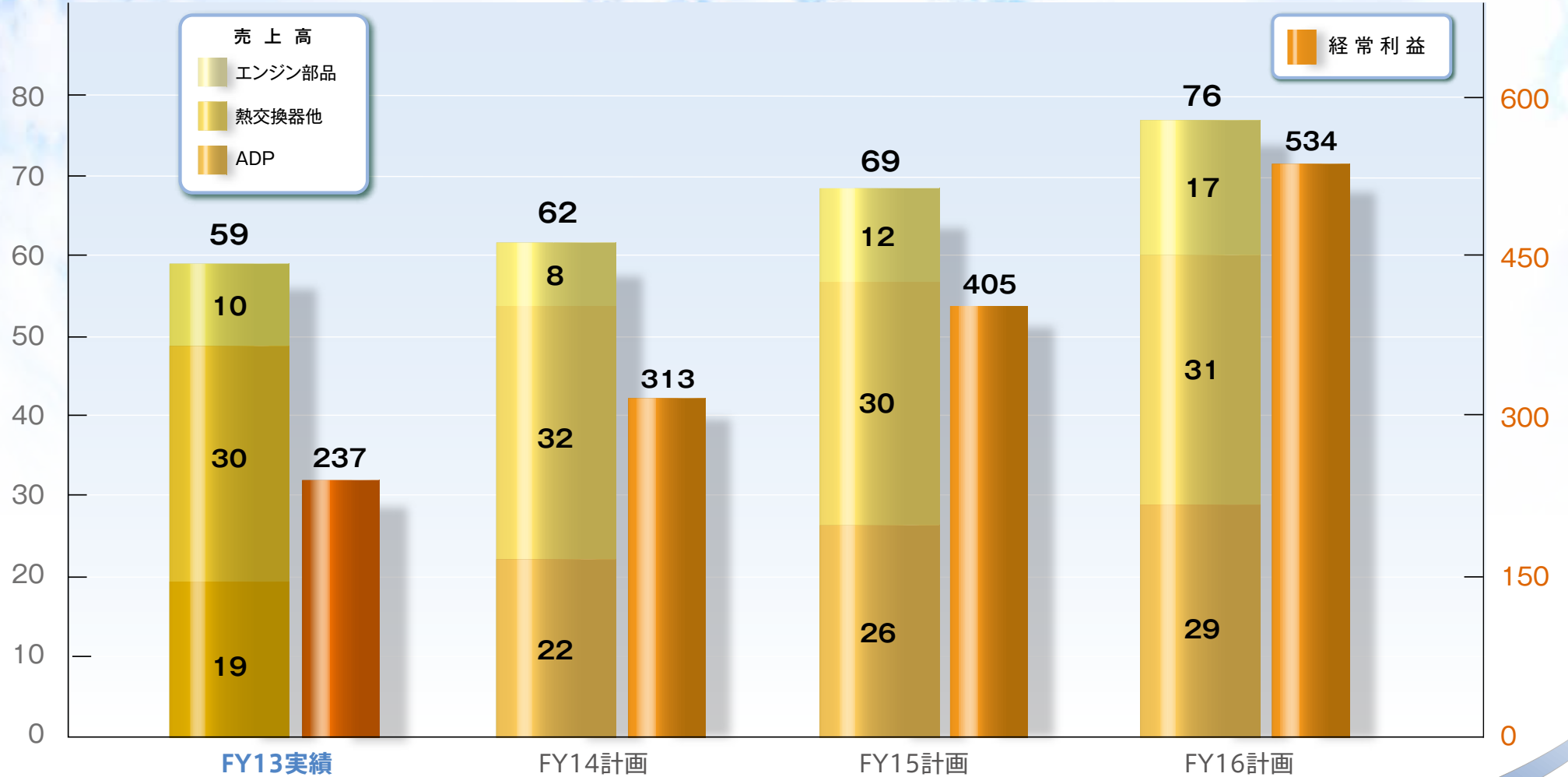
【単位：百万円】



(注)中期計画の為替レート FY14~16 100円/USドル

【単位：億円】

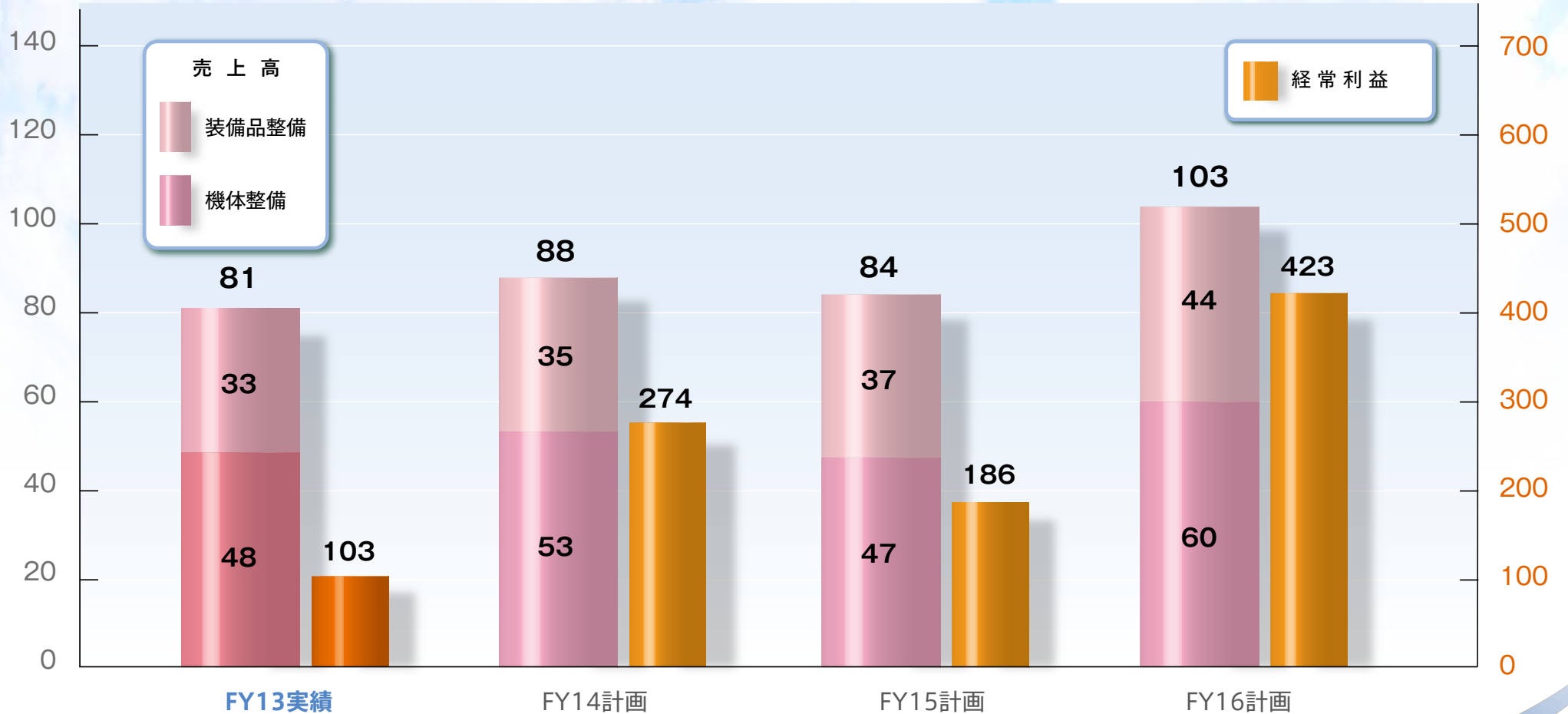
【単位：百万円】



(注)中期計画の為替レート FY14~16 100円/USドル

【単位：億円】

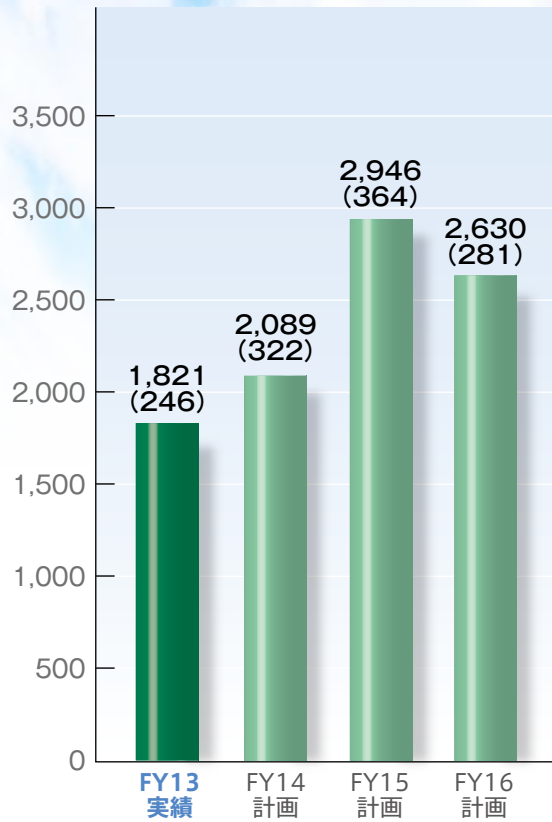
【単位：百万円】



(注) 中期計画の為替レート FY14~16 100円/USドル

【単位:百万円】

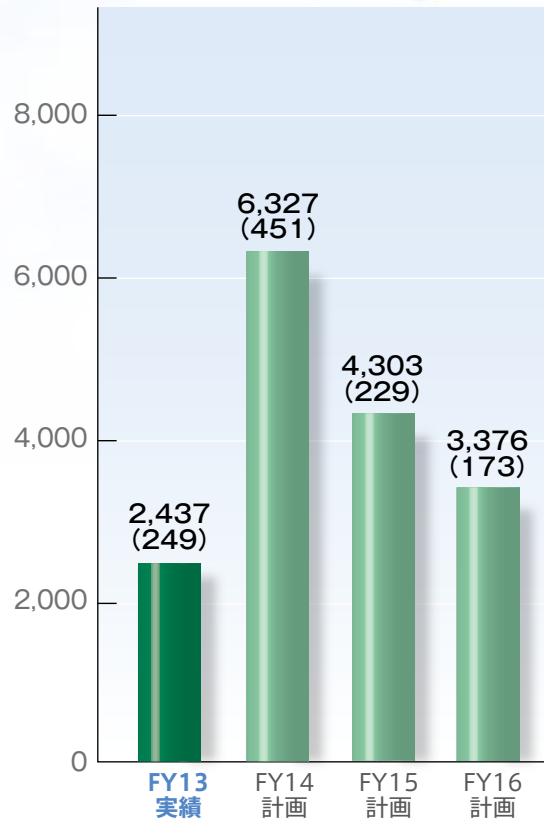
減価償却費(連結)



()内はリース資産分

【単位:百万円】

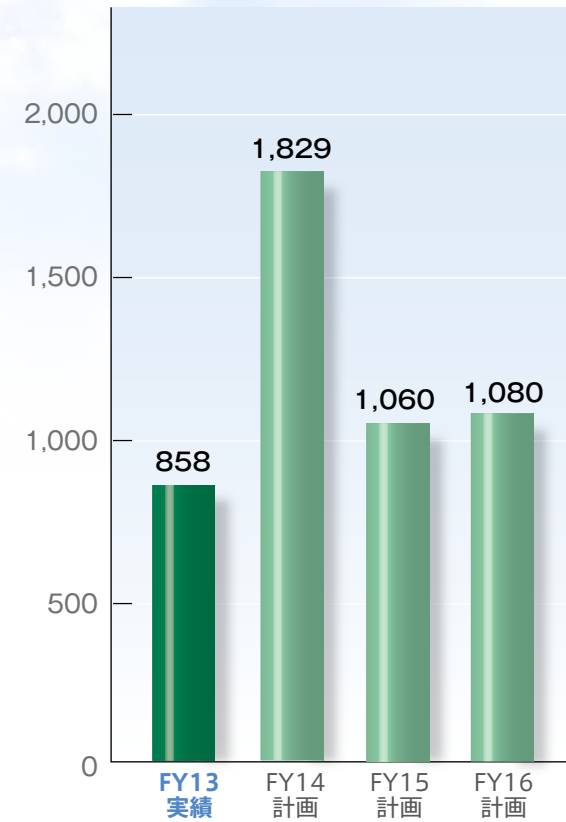
設備投資額(連結)



設備投資には()内の全リース物件を含む

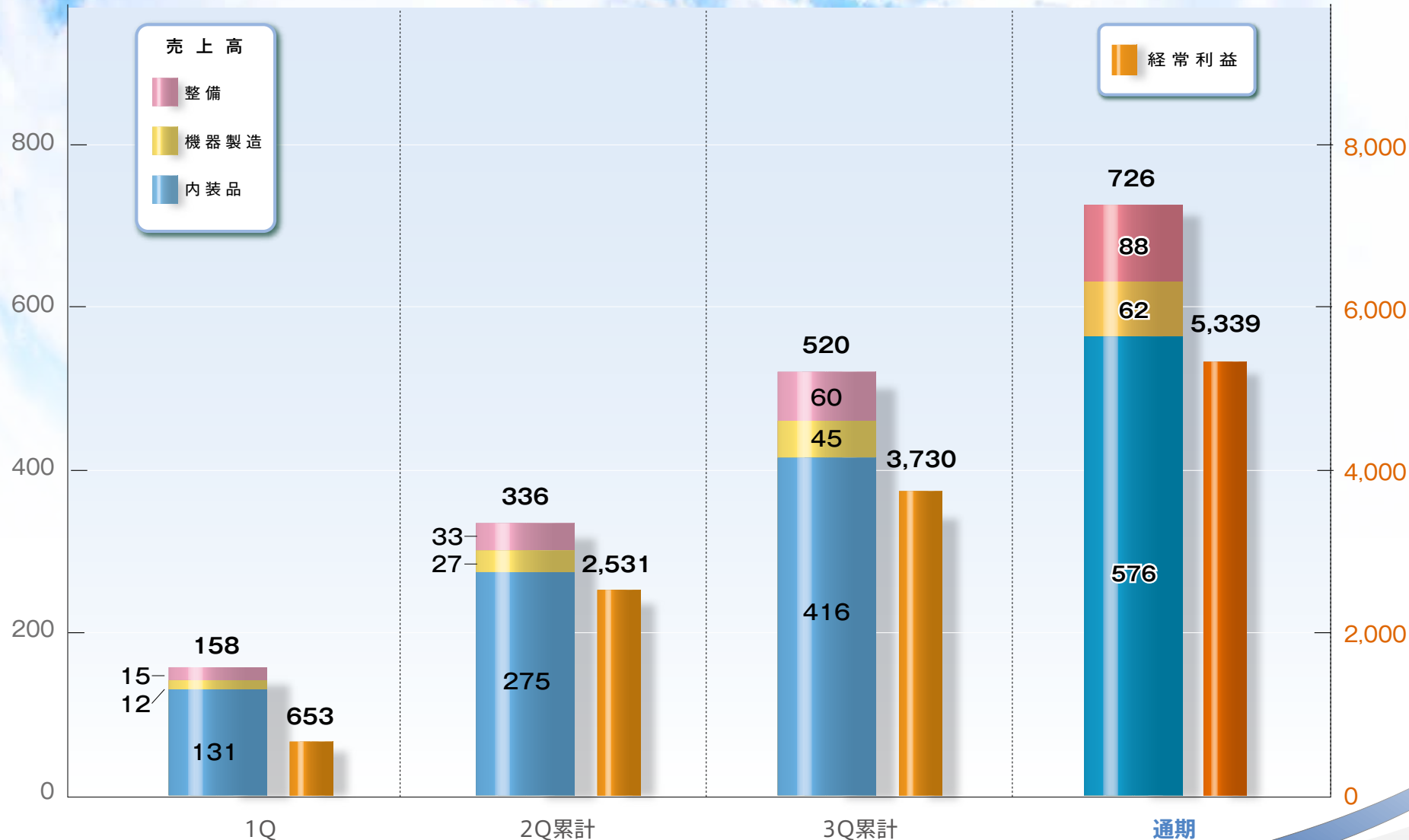
【単位:百万円】

試験研究費(連結)



【単位：億円】

【単位：百万円】



(注)中期計画の為替レート FY14~16 100円/USドル

2014年3月期 決算説明会 添付資料

Contents

Ⅲ 会社概要

企業グループ概要.....	24
事業概要.....	25

Ⅳ 2014年3月期 決算の状況

業績概要(単独).....	30
売上高/経常利益(単独).....	31
減価償却費/設備投資額/試験研究費(単独).....	32

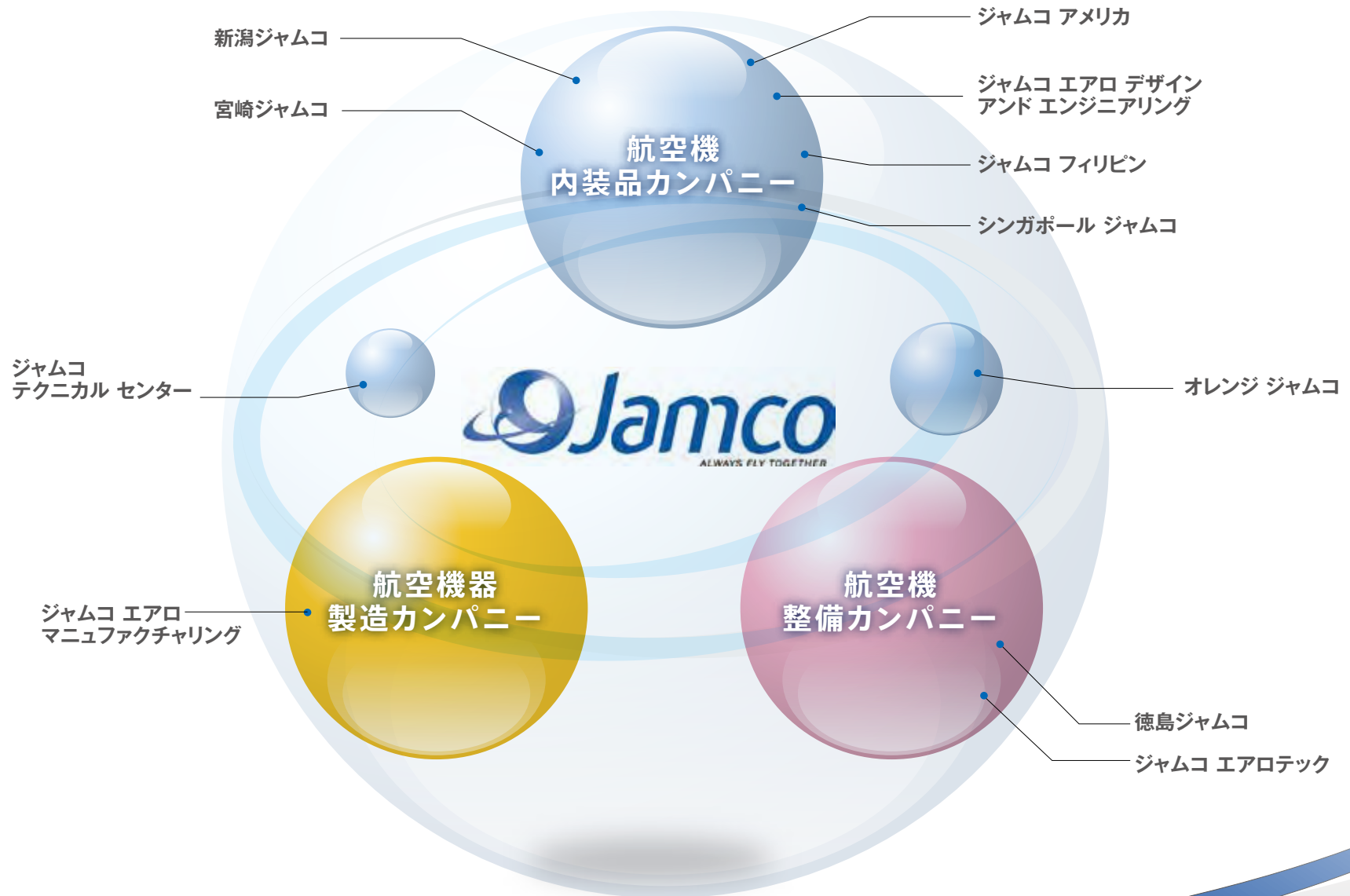
Ⅴ 経営環境と市場動向..... 33

Ⅵ 機体メーカーの受注・納入状況

ボーイング・エアバス2013年実績.....	35
------------------------	----

Ⅶ 中長期の市場動向

世界の航空旅客予測.....	38
ジェット機の運航機材構成予測.....	39



航空機内装品カンパニー



航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747・767・777・787向けラバトリーを独占供給



航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- エアバスA380向けギャレーの指定業者



航空機用その他内装品の製造

- 乗客用座席(シート)
- 787向けコックピットドア、コックピット内装を独占供給
- ギャレー搭載用各種装備品(インサート)

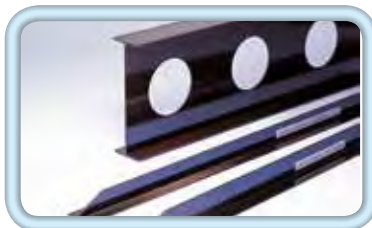
航空機器製造カンパニー



**航空機用熱交換器及び
各種航空機搭載機器の製造**



ジェットエンジン部品の製造



航空機用炭素繊維構造部材 (ADP) の製造

- エアバスA380用2階床構造部材
- エアバス全機種 of 垂直尾翼構造部材

航空機整備カンパニー



**防衛省・海上保安庁・国土交通省航空局・航空大学校
・エアラインなどの航空機・装備品整備事業**



- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備



- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備





(注1) 出資比率はグループ出資比率
(注2) 2014年4月現在

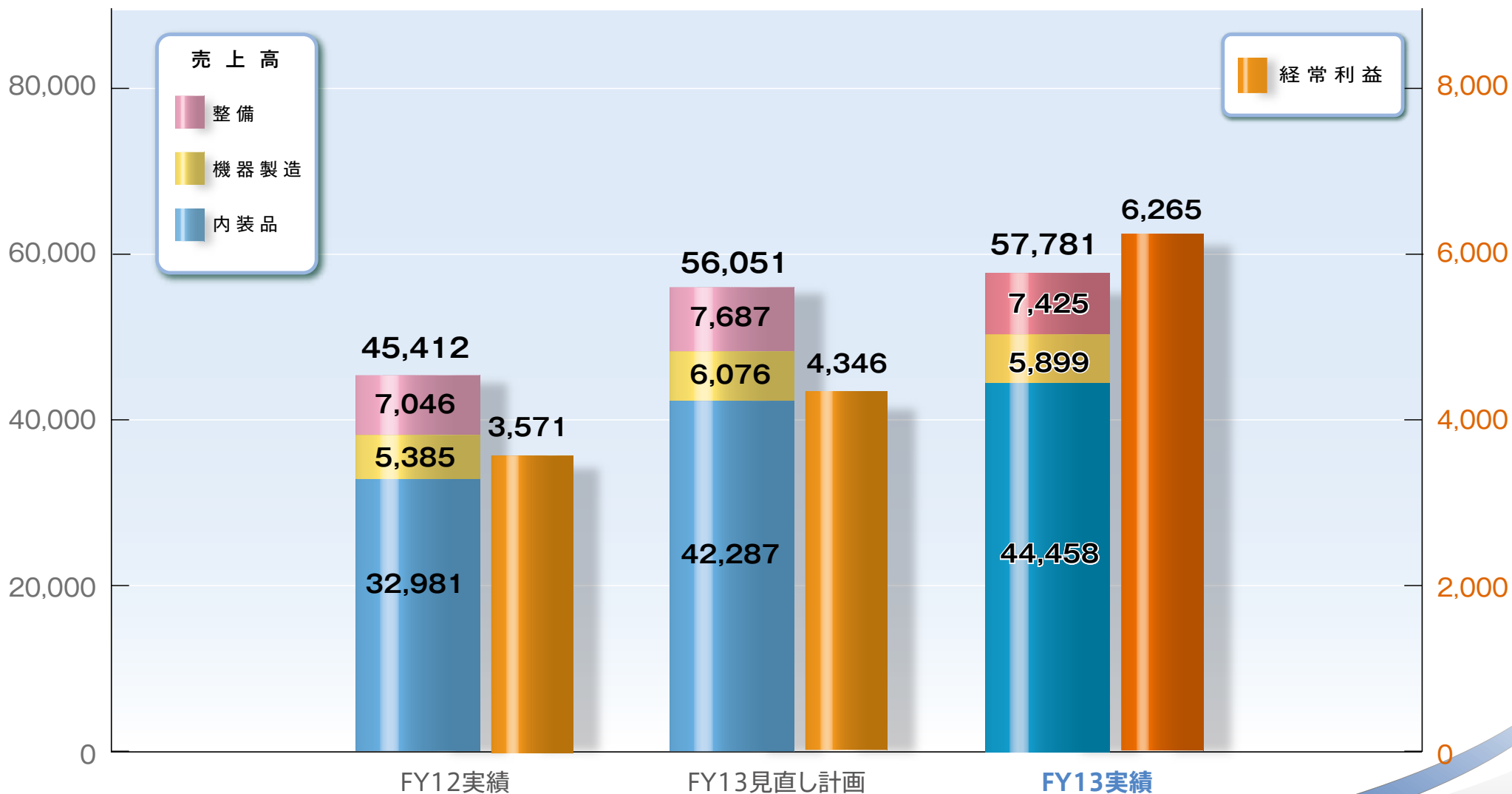
【単位:百万円】

	FY13実績	FY12実績	前期比	FY13 見直し計画	計画比
売上高	57,781	45,412	+27%	56,051	+3%
営業利益	5,872	3,076	+91%	4,449	+32%
経常利益	6,265	3,571	+75%	4,346	+44%
税引前当期純利益	6,256	3,550	+76%	4,341	+44%
当期純利益	3,877	2,147	+81%	2,546	+52%
1株当たり 当期純利益(円)	144.54	80.04	—	94.92	—
売上為替レート (円/USドル)	99.70	82.79	—	95.00	—

(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

【単位:百万円】

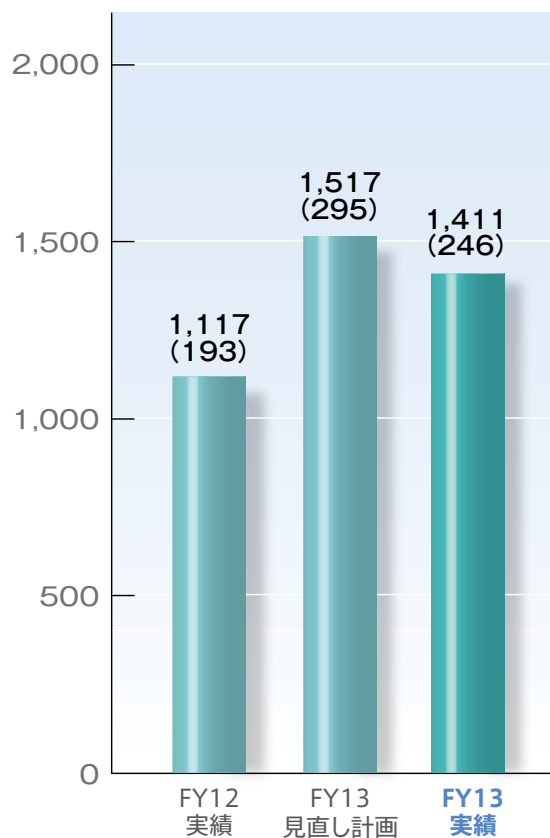
【単位:百万円】



(注)見直し計画とは、2013年11月15日の決算発表時業績予想数値です。

【単位:百万円】

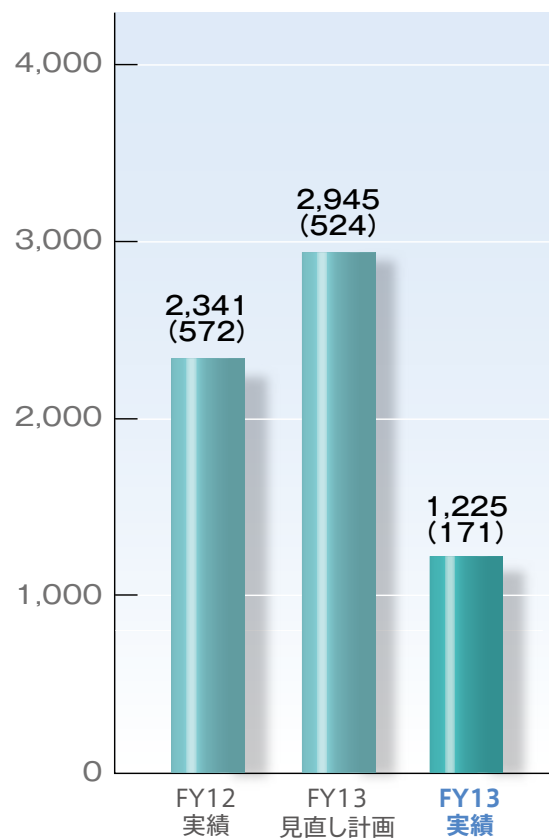
減価償却費(単独)



※()内はリース資産分

【単位:百万円】

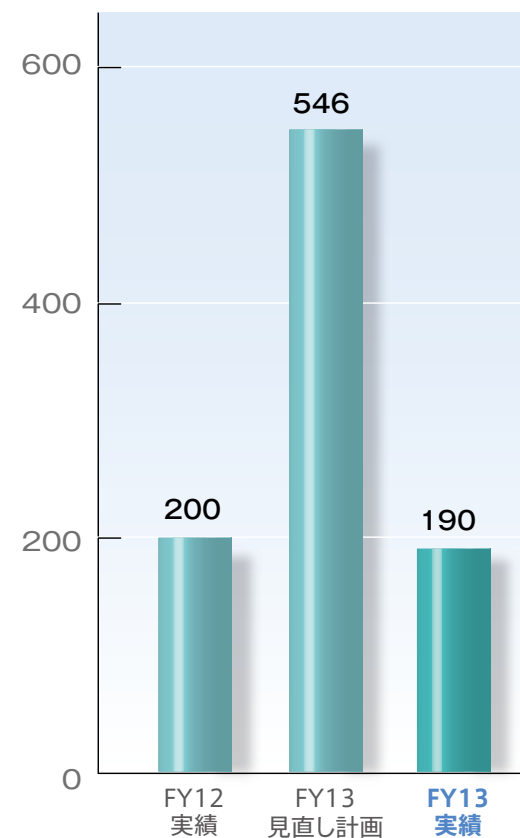
設備投資額(単独)



※設備投資には()内の全リース物件を含む

【単位:百万円】

試験研究費(単独)



● ボーイング社の受注残機数

狭胴機 3,794 機 (前年同期3,125機)

広胴機 1,360 機 (前年同期1,320機)

● エアバス社の受注残機数

狭胴機 4,247 機 (前年同期3,889機)

広胴機 1,274 機 (前年同期1,059機)

出所：Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS:MARCH 31,2014」

(注) 2014年3月末日時点

● 787の生産状況

- 2014年3月末日現在 132機引き渡し完了
- 2014年3月末日現在 受注残機数は899機

● A350XWBの開発状況

- 2014年第4四半期に初号機の引き渡し予定
- 2014年3月末日現在 受注残機数は812機

● A380の生産状況

- 2014年3月までに、128機引き渡し完了
- 2014年3月末日現在 受注残機数は196機

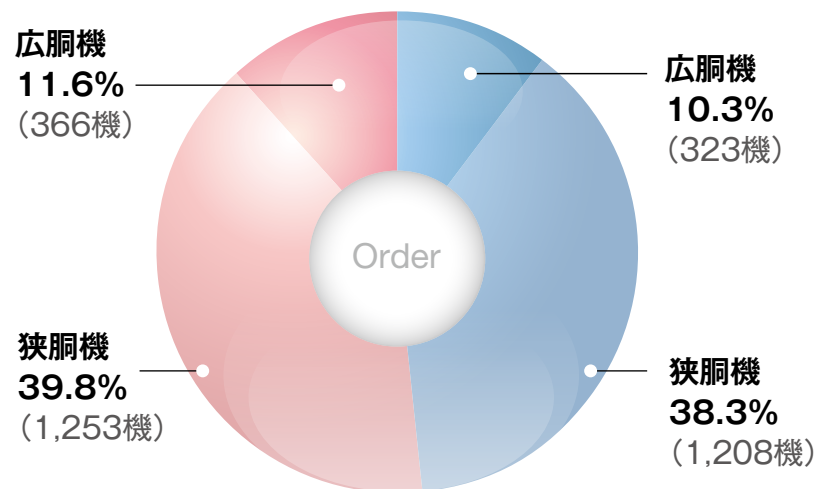
(注) 受注データについてはボーイング社、エアバス社HPより

(2013年1月～12月累計)

受注状況

● エアバス社
51.4%
 (1,619機)

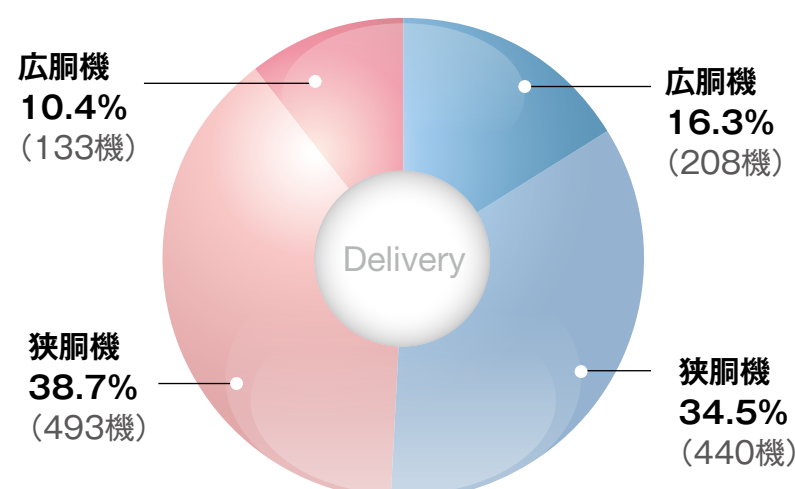
● ボーイング社
48.6%
 (1,531機)



納入状況

● エアバス社
49.1%
 (626機)

● ボーイング社
50.9%
 (648機)



出所: Speed News Home Page 「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS: DECEMBER 31, 2013」

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	1,531	648	5,228
747	17	24	55
777	121	98	528
787	183	65	916
767	2	21	49
737	1,208	440	3,680

(注) ■色の機種は広胴機 (ワイドボディ機) を示す。

出所: Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS: DECEMBER 31, 2013」

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	1,619	626	5,559
A380	50	25	182
A350	239	0	812
A330	77	108	267
A321	525	102	1,100
A320	702	352	3,067
A319	26	38	131
A318	0	1	0

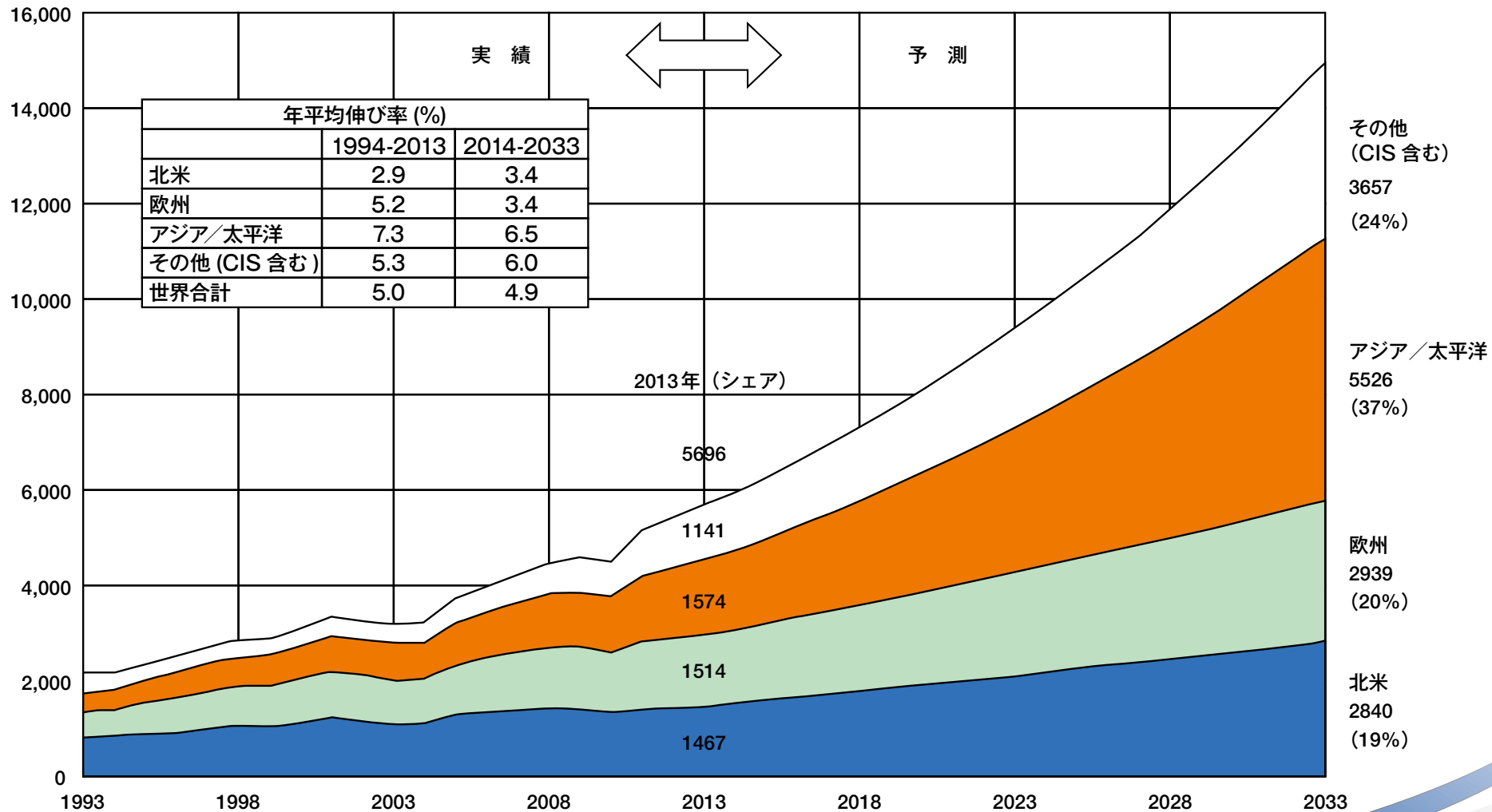
(注) ■色の機種は広胴機 (ワイドボディ機) を示す。

出所: Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS: DECEMBER 31, 2013」

有償旅客キロ
(10 億人・キロ)

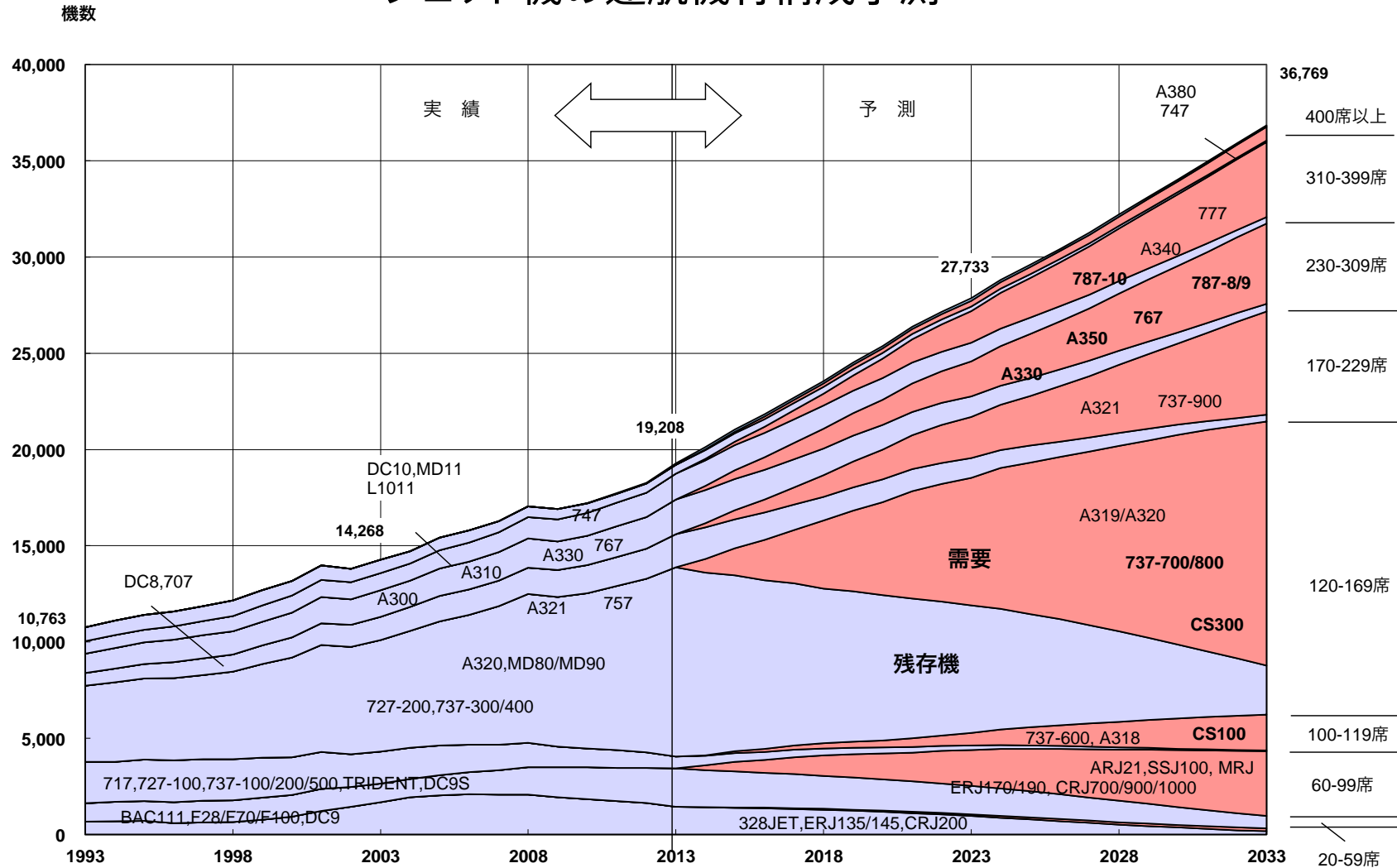
世界の航空旅客予測

2033 年 (シェア)
世界合計 14962



出所: (財)日本航空機開発協会「平成25年度民間輸送機に関する調査研究」

ジェット機の運航機材構成予測



出所: (財)日本航空機開発協会「平成25年度民間輸送機に関する調査研究」

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together